

大学入試

産立関関 龍甲近

漢字ドリル

東進ハイスクール
板野博行

関西学院大学

関西大学

立命館大学

京都産業大学

近畿大学

甲南大学

龍谷大学

大学入試

産立関 龍甲近 漢字

漢字 龍甲近 産立関

板野博行

関西学院大学
関西大学
立命館大学
京都産業大学
近畿大学
甲南大学
龍谷大学

教壇に立つて「これが立命館にできる！」などと言い続けること？年。大学別の研究をしているうちに、あきらかにその大学にでる問題傾向があることがわかってきました。

たとえば今年の受験生でいえば、第一志望の関西学院大学には合格しても、押さえた近畿大学には不合格という生徒がいました。偏差値的には考えられないことですが、現実には有り得る話なのです。第一志望大学の過去問をひたすら何年分も解き、傾向と対策を完全につかんでいたからこそ、こうした逆転ができたのです。これと同じ例は枚挙にいとまがありません。

一般的に言われる大学の合格偏差値というものがありませんが、後追い調査をしてみると合格者の最低偏差値と最高偏差値の差は30以上あるのです。たとえば関西大学経済学部でいえば、11月の模擬試験の結果では、最低40から最高70台までの人が合格しているのです。平均をとれば60程度ですが、70を越えていても不合格の人もしれば、40程度の人でも合格者はいるのです。これは関関同立すべてについていえます。

つまり、偏差値はあくまで目安に過ぎないということ。

逆にいえば傾向をつかみ対策を立てて集中して勉強すれば、偏差値の10や20は軽く逆転してしまうということなのです。

そこで考えたのがこの「関関立産近甲龍 漢字ドリル」です。

この本の特長は、

○入試直前に関関立産近甲龍の核となる漢字をこなして漢字力をつける

○可否に直結する各大学別の漢字で傾向をつかむ

○予想漢字がズバリ的中!!

○書き込み式で手問いらず、入試会場まで持っていける

入試直前の友として、受験生がこの本を愛用し、無事に大学合格を果たしてくれることを祈っています。

●略語・記号について

() その字の意味
／ 音訓

『 』 その字を使った
頻出語句

⇕ 反意語・対義語
書き誤りやすい
似た漢字

識別

◎ 予想漢字のなかで
特に大切なもの
関連する漢字

↓

龍甲近産立関関

HINSHUTSU KANJI

頻出漢字 300

まずは、核となる頻出の300語をこなしていこう！
傾向をふまえた漢字を身につけることで漢字への不安が小さくなり、
次の大学別へのステップとして大きな原動力となろう！



- ☐ 1 世界平和をカツボウする
☐ 2 非常にゲンカクな父親
☐ 3 シュウチの事実を疑う
☐ 4 肥えたドジョウを耕す
☐ 5 多くの意味をホウガンする
☐ 6 平明にジョジュツする
☐ 7 花嫁イショウで街を走る
☐ 8 アイマイな返事で済ませる
☐ 9 ケンキョな態度で申し出る
☐ 10 シュウチャク心を捨てる
☐ 11 年末恒例の大ソウジ

「渴」⇨カツ／かわく『枯渴』
 不正を許さない、厳しい態度
 広く周りに知れ渡っていること
 土。転じて、物事が発生する基盤
 「包」⇨ホウ／つつ・む『包装』
 「含」⇨ガン／ふく・む『含蓄』
 考えを順序だてて述べること
 「叙」⇨ジョ（述べる）『叙情詩』
 「装」⇨ソウ、ショウ／よそお・う
 『装飾』『装置』
 「曖昧模糊」⇨はつきりせず、ぼんやりしている様子
 控えめでつつましかかさま
 『虚栄』『虚構』
 「執」⇨シツ、シュウ／とる（こたわ
 る）『執行』『固執』
 『駆除』『除去』

掃除 執着 謙虚 曖昧 衣装 叙述 包含 土壤 周知 嚴格 渴望

関関立産近甲龍頻出3002

- ☐ 12 大会出場をホウキする
☐ 13 先例にイキヨする
☐ 14 町のケイカンを損ねる
☐ 15 感情のシンブクが大きい
☐ 16 汚職した議員をハイジヨする
☐ 17 狙ったエモノは逃さない
☐ 18 彼女のことはアキラめなさい
☐ 19 複数の要素がカラミ合う
☐ 20 深層心理がケンザイカする
☐ 21 ジュウナンな創造力を培う
☐ 22 記憶をソウシツする

「放」⇨ホウ／はなす『解放』
「棄」⇨キ（すてる）『棄却』

より所とすること『依頼』『依然』

景色。よい眺め

振幅

取り除くこと

「除」⇨ジヨ／のぞく『除外』『掃除』

「獲」⇨カク／える『獲得』『捕獲』

「諦観」

「識別」「締」⇨テイ／し・まる『締結』

「絡」⇨ラク／からむ『連絡』『脈絡』

はつきり形に現れること⇨『潜在』

「柔」⇨ジュウ／やわらかい

「軟」⇨ナン／やわらかい

「喪」⇨ソウ／も『喪服』

放棄

依拠

景観

振幅

排除

獲物

諦（める）

絡（む）

顕在化

柔軟

喪失

関関立産近甲龍頻出3003

- ☐ 23 記憶の一部をボウキヤクする
☐ 24 ケツシュツした能力を發揮
☐ 25 反逆分子をハイセキする
☐ 26 多くの文献からエンヨウする
☐ 27 政府の役人をアヤツる
☐ 28 彼の言い分をカンアンする
☐ 29 ジュクリヨの上、決断する
☐ 30 物語の知られざるソウワ
☐ 31 ナグサめはいらないぜ
☐ 32 ボウダイな量の課題
☐ 33 ケンイある賞をいただく

「却」|| キヤク / かえ・つて(しりぞく)「却下」|| 返却
 ずば抜けて優れていること
 「傑」|| ケツ(すぐれる)「傑作」|| 豪傑
 押しのけること。退けること
 自説の助けとして、他の文献を引用すること
 操作すること
 識別「燥」|| ソウ「乾燥」|| 焦燥
 事情を考え合わせること。「勘」|| カン / (かんがえる)「勘定」|| 勘当
 「慮」|| リヨ / おもんばか・る
 「考慮」|| 遠慮
 エピソード。「挿」|| ソウ / さ・す
 「挿入」
 「慰」|| イ / なぐさ・める「慰勞」|| 慰安
 「膨」|| ボウ / ふく・らむ「膨張」
 権力と威力

忘却 傑出 排斥 援用 操(る) 勘案 熟慮 挿話 慰(め) 膨大 権威

関関立産近甲龍頻出300 4

☐ 34 神経スイジャクに陥る

☐ 35 カンガイ無量でございます

☐ 36 社会にコウケンしていません

☐ 37 ショウガイ物競走に出場する

☐ 38 最良のソチを施す

☐ 39 村の旧習をボクシュする

☐ 40 インネンの対決が始まる

☐ 41 効果がケンチヨに表れる

☐ 42 水分のセツシュ量が増える

☐ 43 ヒガの実力差は大きい

☐ 44 オクビヨウ風に吹かれる

『衰』〓おとろへる『衰退』『荣枯盛衰』

『慨』〓ガイ『慨嘆』『憤慨』

『識別』『概』〓ガイ／おおむね『概念』

『貢』〓コウ・ク／みつぐ『献』〓ケン、コン（ささげる）『献上』『献立』

『障』〓ショウ／さわる『保障』『故障』

判断し取り計らうこと『措』〓ソ／おく『措辞』

頑固に守り通すこと

前世からの定まった縁。言い掛かり

『顕』〓ケン／あらわす『顕在』『著』〓チヨ／あらわす、いちじるしい『著者』

『摂』〓セツ（とる）『摂理』

彼（相手）と我（自分）

『臆面』

衰弱

感慨

貢獻

障害

措置

墨守

因縁

顕著

摂取

彼我

臆病

関関立産近甲龍頻出3005

- ☐ 45 これはアンモクの了解である
☐ 46 カンキウをつけた投法
☐ 47 コウシ柄のTシャツ
☐ 48 ジョウキを逸した行動
☐ 49 ナットクできない説明
☐ 50 戦国大名のボツコウを描く
☐ 51 エイビンな反射神経
☐ 52 ゲンミツに言うとは違います
☐ 53 センサイな神経の持ち主
☐ 54 物事をヒソウ的に見る
☐ 55 首相がイカンの意を表する

心残り『遺棄』

上っ面

「織」⇨セン(ほそい)『化織』『繊維』

嚴重ですぎのなさま

「鋭」⇨エイ/するどい『精鋭』
「敏」⇨ビン(するどい)『機敏』

にわかに勢力をつけてくること

他人の考えを理解し受け入れること

普通に踏むべき道

「資格」『格言』

「緩」⇨カン/ゆるい『緩慢』
「暖」⇨ダン/あたたかい『温暖』

言葉にせずとも分かりあっていること。不文律

遺憾 皮相 繊細 厳密 鋭敏 勃興 納得 常軌 格子 緩急 暗黙

関関立産近甲龍頻出3006

56 新入部員をカンゲイする

57 容疑者の身柄をコウソクする

58 ショウゲキ的な作品

59 傷口を八針又う

60 ことのホツタンは口げんか

61 期待と不安がコウサクする

62 発言にイキドオリを感じる

63 要求をカンジュする

64 場内は大コウフンに包まれる

65 タイダな毎日を反省する

66 ノウリに焼き付いた情景

喜び迎えること

『歓』カン(よろこぶ)『歓声』『交歓』

『拘』コウ/かか・わる『拘泥』

『束』ソク/たば・ねる『束縛』

『衝』ショウ/つく『要衝』『衝突』

『縫』ホウ/ぬ・う『裁縫』

物事の初め。端緒(たんしょ・糸口)を発(ひら)くこと

入り交じること

『錯』サク(まじわる)『錯誤』『錯覚』

『憤慨』『識別』『噴』フン/ふく

『噴火』『墳』フン/古墳』

甘んじて受け入れること

『奮』フン/ふる・う『奮起』

『識別』『奪』ダツ/うば・う『奪取』

『怠』タイ/おこた・る、なまける

『怠慢』『倦怠』

頭の中。心の中

歓迎

拘束

衝撃

縫(う)

発端

交錯

憤(り)

甘受

興奮

怠惰

脳裏

関関立産近甲龍頻出3007

- ☐ 67 会議がエンカツに進む
☐ 68 ギョウザのセンモン店
☐ 69 歌人が全国をヒョウハクする
☐ 70 カンシヨウにひたる
☐ 71 夢がついにジヨウジュする
☐ 72 ダキヨウせず追求する
☐ 73 クラス全体をハアクする
☐ 74 将来の夢はホンヤク家です
☐ 75 自ら敵地にオモムく
☐ 76 作品のコウセツを論ずる
☐ 77 夏期合宿のソウカツ

角が立たず滑らかなこと。「滑」カ
 ツ／すべ・る、なめ・らか「滑走」
 「専」セ／もつばら「専売」「専横」
 流れ漂うこと
 「漂」ヒョウ／ただよう「漂流」「漂白」
 心が少し傷つくこと。センチメント
 「就」シユウ／つく「就職」
 『妥当』『妥結』
 「把」ハ（とる）
 「握」アク／にぎ・る「握力」
 ある国の言語を、他の国の言語に訳
 し直すこと
 向かっていく
 「赴」フ／おもむく「赴任」
 巧みなことと、拙いこと
 全体を締めくくること

円滑 専門 漂泊 感傷 成就 妥協 把握 翻訳 赴(く) 巧拙 総括

☒ 8. 母がカニシキを迎える

[illegible]

数え年61歳の異称。陰暦で、60年たつと生まれたときの干支に還ることから

還曆

関関立産近甲龍頻出3009

☑ 89 コウリヨウたる原野に行く

☑ 90 タクみな言葉で人を騙す

☑ 91 バイカイの労を執る

☑ 92 村が土砂でマイボツする

☑ 93 ソウシヨクのな襖絵

☑ 94 審議がフンキュウする

☑ 95 雨はイゼンとして降り続く

☑ 96 キガに苦しむ地域を訪れる

☑ 97 お互いにジヨウホする

☑ 98 学生運動からダツキヤクする

☑ 99 宣伝バイタイを利用する

「荒」(あれる)と「涼」(さみしい)

「巧」||コウ/たく・み『巧妙』『巧拙』

「媒」「介」ともに、なかだち、の意
『触媒』/『介在』

「埋」||マイ/う・める『埋蔵』
「没」||ボツ(しずむ)『没落』

美しく見えるように飾り立てること

ごたごたともめること

『紛争』/『糾弾』

元のまま、の意

飢えること

他人に譲り、先を歩かせることから

「脱」||ダツ/ぬ・ぐ『虚脱』

「却」||キヤク/かえって『却下』『忘却』

伝達のなかだちをするもの。メディア

荒涼

巧(み)

媒介

埋没

装飾

紛糾

依然

飢餓

譲歩

脱却

媒体

関関立産近甲龍頻出300 10

- ☒ 100 大事故を危機一髪マヌカれる
☒ 101 発言にカジヨウに反応する
☒ 102 コウミヨウな手口で人を騙す
☒ 103 季刊誌のソウテイが決まる
☒ 104 話をコチヨウする癖がある
☒ 105 恒星がシヨウメツする
☒ 106 それがダトウな選択だ
☒ 107 家庭の事情をハイリヨする
☒ 108 なんのミヤクラクもない話
☒ 109 生徒の注意をカンキする
☒ 110 木をソいで、玩具を作る

「免」||メン／まぬか・れる(ゆるす)
 『免除』『免許』
 「剩」||ジョウ／あまつぎ・え(あまる)
 『剰余』
 「巧」||コウ／たく・み『巧拙』『精巧』
 書物の表紙。また、そのデザインなど
 「誇」||コ／ほこ・る『誇示』『誇大』
 消えて滅ぶこと
 適切であること
 心を配ること「慮」||リヨ／おも
 んぱか・る『遠慮』『考慮』
 つながり。筋道
 「絡」||ラク／から・む『連絡』『短絡』
 呼び起こすこと
 「喚」||カン／わめ・く『喚問』『阿鼻叫喚』
 「削」||サク／そ・ぐ『削減』『添削』

免(れる)
 過剰
 巧妙
 装丁
 誇張
 消滅
 妥当
 配慮
 脈絡
 喚起
 削(いで)

関関立産近甲龍頻出300 11

- ☒ 111 ヘイコウ感覚が優れている
☒ 112 イツカイの文士に過ぎない
☒ 113 多くのギセイ者がでる
☒ 114 彼の成功にシヨクハツされる
☒ 115 ダラクした生活を送る
☒ 116 契約をすべてハキする
☒ 117 観衆をミリヨウする演技
☒ 118 犯罪者のコクインを打たれる
☒ 119 独自の仮説をソテイする
☒ 120 壁をヘダてて会話する
☒ 121 ゴキブリをイツソウする

『衡』コウ(はかり)『均衡』
 (あまり価値のない)一人
 『紹介』『媒介』
 『儀』ギ(いけにえ)
 『牲』セイ(いけにえ)
 ものに触れ、発すること
 身をもちくずすこと
 『棄』キ(すてる)『棄権』『棄却』
 心を引き付け、夢中にさせること
 印を刻み付けること
 『措』ソ／おく『措置』『措辞』
 『隔』カク／へだてる『隔離』『遠隔』
 『掃』ソウ／はく『掃除』

平衡 一介 犠牲 触発 墮落 破棄 魅了 刻印 措定 隔(て) 一掃

関関立産近甲龍頻出3000

12

- 122 チームの士気をコブする
- 123 近所の子供とタワムれる
- 124 ハキヨクは避けられない
- 125 なんてミワク的な女性なんだ
- 126 濃縮した果汁をカンゲンする
- 127 ハンドルを自在にソウサする
- 128 ヘンキヨウな考えの持ち主
- 129 道德キハンに反する行為
- 130 コイン届を役所に届ける
- 131 シンコウ心が深い人物
- 132 解決へのタンシヨをつかむ

人の気持ちを奮い立たせること
 (太鼓をたたき、踊りを舞うことから)
 『戯』||ギ/たわむれる『遊戯』『戯曲』『戯作』『戯言』

事がまとまらず、破れること

魅力で惑わすこと

元に戻すこと
 「還」||カン/かえる『還暦』

「操」||ソウ/あやつる、みさお
 『操縦』『節操』

狭く、偏っているさま

規則。模範『範疇』『範疇』

結婚すること

信じて仰ぐこと

手掛かり。いとぐち

鼓舞
 戯(れる)
 破局
 魅惑
 還元
 操作
 偏狭
 規範
 婚姻
 信仰
 端緒

関関立産近甲龍頻出300

13

- ☐ 133 バクゼンとした不安がよぎる
☐ 134 論理のムジュンを指摘する
☐ 135 自説にコシツしすぎである
☐ 136 ボウカン者も同罪である
☐ 137 イライを受けて調査する
☐ 138 人情のキビに触れる
☐ 139 事態はコントンとしている
☐ 140 タンセイな顔付きの女優
☐ 141 実力を存分にハツキする
☐ 142 ムボウにも一人で反抗する
☐ 143 賽銭をカンジョウする

「漠」Ⅱバク(ひろい)『広漠』『茫漠』
 「矛」と「盾」を売る商人の故事から
 自分の意見を曲げないこと
 「執」Ⅱシツ、シユウ／とる『執務』『執念』
 「傍」Ⅱボウ／かたわら
 『路傍』『傍目八目』
 人に頼むこと『依然』『依存』
 表面には現れない微妙な様子
 物事が入り混じってはつきりしないさま
 きちんと整っているさま
 もっている力を出し切ること
 「謀」Ⅱボウ／はかる『謀略』『謀反』
 「勘」Ⅱカン(しらべる)『勘案』『勘当』

勘定 無謀 発揮 端正 混沌 機微 依頼 傍観 固執 矛盾 漠然